

2022年度(前期)		声優学科		1年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優演技基礎			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	64	劇団主催 演出・出演多数

授業概要

舞台演技基礎知識・実践

授業テーマ

舞台演技における「受け」の演技の重要性

授業項目

授業内容

1	声優演技基礎①	テンションとパワーとの違いを説明する。
2	声優演技基礎②	スタニスラフスキーの3つの輪の概念。わざとらしい演技とは？
3	声優演技基礎③	パワースピーチ。人前で自分の好きなものを発表する。
4	声優演技基礎④	腹式発声について。もう一度、考察を深める。
5	声優演技基礎⑤	脚本を渡し、解釈を演出家とすり合わせる。
6	声優演技基礎⑥	脚本の稽古。共演者にフォーカスを絞ることを専念する。
7	声優演技基礎⑦	脚本の通し。
8	声優演技応用①	台本稽古。(セリフを覚える)
9	声優演技応用②	台本稽古。(半立①) 身体を伴った声を出していく。
10	声優演技応用③	台本稽古。(半立②) 身体を使って声を出していく。
11	声優演技応用④	台本稽古。(半立③) 演出からのオーダーを瞬時に受け入れていく。
12	声優演技応用⑤	台本稽古。(通し①) 台詞を身体に落とし込んでいく。
13	声優演技応用⑥	台本稽古。(通し②) 共演者と会議し、チームワークを構成する。
14	声優演技応用⑦	台本稽古。(通し③) チームごとに集まりスタッフ的に作業も同時進行する。
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

舞台演劇公演の達成・出演実績

評価方法

舞台公演出演

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期)		声優学科		1年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優演技基礎Ⅲ・Ⅳ			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	64	劇団主催 演出・出演多数

授業概要

舞台公演に向けての準備・稽古

授業テーマ

舞台演技の「縦」の演技と「横」の演技のバランスを探っていく。

授業項目

授業内容

1	声優演技基礎①	うしろ売りにおける発声の仕組み。夏公演の反省をフィードバックする。
2	声優演技基礎②	新脚本の読み。
3	声優演技基礎③	新脚本の読み。オーディション。
4	声優演技基礎④	新脚本の読み。キャスティング。
5	声優演技基礎⑤	新脚本の読み。脚本解釈。
6	声優演技基礎⑥	新脚本の半立。共演者と自分の役の情報をピックアップしていく。
7	声優演技基礎⑦	新脚本の半立。
8	声優演技応用①	脚本の練習。読み。
9	声優演技応用②	脚本の練習。読み。
10	声優演技応用③	脚本の練習。半立。
11	声優演技応用④	脚本の練習。半立。
12	声優演技応用⑤	脚本の練習。台本を放しての読み。
13	声優演技応用⑥	脚本の練習。映像に録画し、鑑賞する。
14	声優演技応用⑦	脚本の練習。舞台のバランスを整えていく。
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

舞台公演に出演し与えられた役を演じる

評価方法

舞台公演に出演

与えられた役職（制作・小道具・大道具・衣装）を運営

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期)		声優学科 1年	
授業コード	授業科目名	週間授業時数	担当講師名
	声優台本対策A	4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	前期4月～9月	演習 必須	64
			実務経験 劇団万能グローブガラボコスタイナモス 主宰/演出

授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

授業テーマ

台詞技術の向上

授業項目

授業内容

1	声優審査対策①	課題台本配布、発表、質疑応答
2	声優審査対策②	課題台本配布、発表、質疑応答
3	声優審査対策③	課題台本配布、発表、質疑応答
4	声優審査対策④	課題台本配布、発表、質疑応答
5	声優審査対策⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
6	声優審査対策⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
7	声優審査対策⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
8	声優審査応用①	課題台本配布、発表、質疑応答
9	声優審査応用②	課題台本配布、発表、質疑応答
10	声優審査応用③	課題台本配布、発表、質疑応答
11	声優審査応用④	課題台本配布、発表、質疑応答
12	声優審査応用⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
13	声優審査応用⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
14	声優審査応用⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

課題台本オーディション発表

評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査対策Ⅰ・Ⅱ			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	64	劇団万能クロープカラバコスダイナモス 主宰/演出

授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

授業テーマ

台詞技術の向上

授業項目

授業内容

1	/	声優審査対策①	テキストを基に、チームごとに演技プランを作成し、表現を立ち上げてみる①
2	/	声優審査対策②	テキストを基に、チームごとに演技プランを作成し、表現を立ち上げてみる②
3	/	声優審査対策③	中間発表。及び、他チームの講評意見交換を行う。
4	/	声優審査対策④	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す。
5	/	声優審査対策⑤	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す②
6	/	声優審査対策⑥	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す③
7	/	声優審査対策⑦	発表。及び他チームへの講評、意見交換を行う。
8	/	声優審査応用①	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う。
9	/	声優審査応用②	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う②
10	/	声優審査応用③	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う③
11	/	声優審査応用④	中間発表、ディスカッション。
12	/	声優審査応用⑤	創作①
13	/	声優審査応用⑥	創作②
14	/	声優審査応用⑦	発表。振り返り、1年間のまとめ。
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

課題台本オーディション発表

評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ基礎			4	株) パインズ
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月~9月	演習	必須	64	福岡を代表するタレント事務所

授業概要

収録スタジオにてアフレコ基礎トレーニング

授業テーマ

正しい発音とタイミング、マイクワークで、短尺のアニメアフレコを収録

授業項目

授業内容

1	／	アフレコ基礎①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／基本的な読みのレクチャー
2	／	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク決め、尺調など
3	／	アフレコ基礎③	決まったキャストによる小返し①(タイミングの確定と発音指導)
4	／	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(タイミング、発音のおさらいと表現指導)
5	／	アフレコ基礎⑤	全通し①→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③(改善箇所)
6	／	アフレコ基礎⑥	全通し②→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し④(最終調整)
7	／	アフレコ基礎⑦	最終リハーサル本番収録(アニメ短尺)プレビュー(各自レポート記入)レポート提出
8	／	アフレコ応用①	★前クール提出のレポート返却(希望者には添削レスポンス有り) 台本製本、読み合わせ、画合わせ／基本的な読みのレクチャー②
9	／	アフレコ応用②	まわしアフレコにてキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調、暗記など
10	／	アフレコ応用③	決まったキャストによる小返し①(タイミングの確定と暗記の定着)
11	／	アフレコ応用④	決まったキャストによる小返し②(タイミング、暗記のおさらいと、表現の指導)
12	／	アフレコ応用⑤	全通し①→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③(改善箇所)
13	／	アフレコ応用⑥	全通し②→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し④(最終調整)
14	／	アフレコ応用⑥	最終リハーサル 本番収録(洋画中尺) プレビュー(各自レポート記入)レポート提出
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

今日における声優業界を知り、仕事への意識向上を図る

評価方法

アフレコ収録による評価

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ基礎			4	株) パインズ
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月~3月	演習	必須	64	福岡を代表するタレント事務所

授業概要

アフレコ収録・応用

授業テーマ

★心の反映(表情筋) ★動きの反映(呼吸の芝居など) ★距離感の反映(声を飛ばす的の設定) を意識して長尺アニメアフレコを収録

授業項目

授業内容

1	／	アフレコ基礎①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／読みの応用レクチャー①
2	／	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調など
3	／	アフレコ基礎③ 1	決まったキャストによる小返し①(心の反映注力指導)
4	／	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(動きの反映・距離感の反映注力指導)
5	／	アフレコ基礎⑤	ギャ指導→全通し→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③
6	／	アフレコ基礎⑥	全通し→最終調整 最終リハーサルまで。
7	／	アフレコ基礎⑦	本番収録(アニメ長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
8	／	アフレコ応用①	★前クール提出のレポート返却(希望者には添削レスポンス有り) 台本製本、読み合わせ、画合わせ／読みの応用レクチャー②
9	／	アフレコ応用②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調、暗記など
10	／	アフレコ応用③	決まったキャストによる小返し①(心の反映に注力指導)
11	／	アフレコ応用④	決まったキャストによる小返し②(動き、距離感の反映に注力指導)
12	／	アフレコ応用⑤	台本なし全通し①→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③
13	／	アフレコ応用⑥	台本なし全通し②→最終調整 最終リハーサルまで。
14	／	アフレコ応用⑦	本番収録(洋画長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

本番収録 発表

評価方法

配役を演じ・収録・評価

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 1年

授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	歌唱基礎		2	秋葉 千春
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習 必須	32	劇団四季 指導経験

授業概要

基礎的な発声・音程を習得

授業テーマ

歌う際の発声の仕方を知る。音符を読む。音符を読む。

授業項目

授業内容

1	／	歌唱基礎①	五線譜上の音符を解明で読んで歌う。コンコーネ50番練習曲 1 番「夢をあきらめないで」第1ク
2	／	歌唱基礎②	上記を繰り返し練習
3	／	歌唱基礎③	上記を繰り返し練習
4	／	歌唱基礎④	上記を繰り返し練習
5	／	歌唱基礎⑤	上記を繰り返し練習
6	／	歌唱基礎⑥	テスト階名で歌う「コンコーネ50番 1 番（暗譜）」
7	／	歌唱基礎⑦	「夢をあきらめないで」暗譜テスト
8	／	歌唱応用①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ 5 0 番練習曲16番Caro mio ben（第2クール課
9	／	歌唱応用②	上記を繰り返し練習
10	／	歌唱応用③	上記を繰り返し練習
11	／	歌唱応用④	上記を繰り返し練習
12	／	歌唱応用⑤	上記を繰り返し練習
13	／	歌唱応用⑥	階名で歌う。テスト「コンコーネ 5 0 番練習曲16番（暗譜）」
14	／	歌唱応用⑦	テスト Caro mio ben（暗譜）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

課題曲個人披露 クラス披露

評価方法

採点形式で発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度（後期） 声優学科 1年

授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	歌唱基礎		2	秋葉 千春
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習 必須	32	劇団四季 指導経験

授業概要

基礎的な発声・音程を習得

授業テーマ

歌う際の発声の仕方を知る。音符を読む。音符を読む。

授業項目

授業内容

1	／	歌唱基礎①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ50番練習曲11番、アニメソング（第3クール課題）
2	／	歌唱基礎②	上記を繰り返し練習
3	／	歌唱基礎③	上記を繰り返し練習
4	／	歌唱基礎④	上記を繰り返し練習
5	／	歌唱基礎⑤	上記を繰り返し練習
6	／	歌唱基礎⑥	階名で歌う。テストコンコーネ50番練習曲11番（暗譜）
7	／	歌唱基礎⑦	階名で歌う。テストアニメソング（暗譜）
8	／	歌唱応用①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ50番練習曲32番。アニメソング（第4クール課題）
9	／	歌唱応用②	上記を繰り返し練習
10	／	歌唱応用③	上記を繰り返し練習
11	／	歌唱応用④	上記を繰り返し練習
12	／	歌唱応用⑤	上記を繰り返し練習
13	／	歌唱応用⑥	階名で歌う。テストコンコーネ50番練習曲32番（暗譜）
14	／	歌唱応用⑦	テストアニメソング（暗譜）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

課題曲個人披露 クラス披露

評価方法

採点形式で発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	発声基礎トレーニング			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	32	タレント・mc・アーティスト活動

授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

授業テーマ

台詞技術の向上

授業項目

授業内容

1	/	声優審査対策①	課題台本配布、発表、質疑応答
2	/	声優審査対策②	課題台本配布、発表、質疑応答
3	/	声優審査対策③	課題台本配布、発表、質疑応答
4	/	声優審査対策④	課題台本配布、発表、質疑応答
5	/	声優審査対策⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
6	/	声優審査対策⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
7	/	声優審査対策⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
8	/	声優審査応用①	課題台本配布、発表、質疑応答
9	/	声優審査応用②	課題台本配布、発表、質疑応答
10	/	声優審査応用③	課題台本配布、発表、質疑応答
11	/	声優審査応用④	課題台本配布、発表、質疑応答
12	/	声優審査応用⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
13	/	声優審査応用⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
14	/	声優審査応用⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

課題台本オーディション発表

評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	発声基礎トレーニング			2	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	32	タレント・mc・アーティスト活動

授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

授業テーマ

台詞技術の向上

授業項目

授業内容

1	声優審査対策①	オリエンテーション
2	声優審査対策②	短いテキスト(モノログ)を用い「演じるために読む」ことの意味を理解する。
3	声優審査対策③	短いテキスト(モノログ)を用い「演じるために読む」ことの意味を理解する②
4	声優審査対策④	短いテキスト(モノログ)を用い、読む→演じる、のプロセスを正しく行う①
5	声優審査対策⑤	短いテキスト(モノログ)を用い、読む→演じる、のプロセスを正しく行う②
6	声優審査対策⑥	短いテキスト(会話)を用い、演技の基本的な知識を身に着ける①
7	声優審査対策⑦	短いテキスト(会話)を用い、演技の基本的な知識を身に着ける②
8	声優審査応用①	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する①
9	声優審査応用②	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する②
10	声優審査応用③	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する③
11	声優審査応用④	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する④
12	声優審査応用⑤	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する⑤
13	声優審査応用⑥	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する⑥
14	声優審査応用⑦	テキストを用い、複数名での会話における表現技術を確認する⑦
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

課題台本オーディション発表

評価方法

後期に行われるスーパーオーディション発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期)

声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界対策			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	64	劇団万能グローブガラバゴスタイナモス 主宰/演出

授業概要

- 過去の表現作品の考察
- プロフィール作成
- オーディションに向けての業界進出準備

授業テーマ

- 映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる
- 卒業後の業界進出準備
- プロフィールの添削・作成・完成・提出まで

授業項目

授業内容

1	／	業界進出準備①	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	プロフィール配布
2	／	業界進出準備②	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール作成
3	／	業界進出準備③	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
4	／	業界進出準備④	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	
5	／	業界進出準備⑤	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
6	／	業界進出準備⑥	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール回収
7	／	業界進出準備⑦	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
8	／	業界進出準備・対策①	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフィール添削配布
9	／	業界進出準備・対策②	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
10	／	業界進出準備・対策③	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール回収
11	／	業界進出準備・対策④	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
12	／	業界進出準備・対策⑤	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフィール添削配布
13	／	業界進出準備・対策⑥	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
14	／	業界進出準備・対策⑦	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール完成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	

到達目標

- プロフィール添削・完成・企業への提出
- 映画作品研究をし表現の幅を広げる

評価方法

- オーディション参加のためのプロフィール完成

教科書・参考文献

- 講師オリジナル

その他

2022年度(後期)

声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界対策			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月~3月	演習	必須	64	劇団万能グローブガラバゴスタイナモス 主宰/演出

授業概要

- 過去の表現作品の考察
- プロフィール作成
- オーディションに向けての業界進出準備

授業テーマ

- 映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる
- 卒業後の業界進出準備
- プロフィールの添削・作成・完成・提出まで

授業項目

授業内容

1	／	業界進出準備①	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	プロフィール配布
2	／	業界進出準備②	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール作成
3	／	業界進出準備③	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
4	／	業界進出準備④	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	
5	／	業界進出準備⑤	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
6	／	業界進出準備⑥	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール回収
7	／	業界進出準備⑦	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
8	／	業界進出準備・実践①	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフィール添削配布
9	／	業界進出準備・実践②	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
10	／	業界進出準備・実践③	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール回収
11	／	業界進出準備・実践④	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
12	／	業界進出準備・実践⑤	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフィール添削配布
13	／	業界進出準備・実践⑥	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
14	／	業界進出準備・実践⑦	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール完成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	

到達目標

- プロフィール添削・完成・企業への提出
- 映画作品研究をし表現の幅を広げる

評価方法

- オーディション参加のためのプロフィール完成

教科書・参考文献

- 講師オリジナル

その他

2022年度(前期)

声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ボディーワーク基礎			2	高崎 尚子
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	32	ヨガ・ピラティス指導経験

授業概要

身体応用基礎・知識の習得

授業テーマ

身体各部位の解剖学的理解（座学）と体現(ムーブメント) ①

授業項目

授業内容

1	／	ボディーワーク基礎①	身体の成長と自身の現状を把握（測定）及びエクササイズの質を高める為のイメージワークを学ぶ
2	／	ボディーワーク基礎②	呼吸のメカニズムを学び、体現する。
3	／	ボディーワーク基礎③	身体育成法により、運動と呼吸の連動を意識して動く
4	／	ボディーワーク基礎④	骨盤の機能解剖学を学ぶ 骨盤の動きを体現するムーブメント、及びリリース
5	／	ボディーワーク基礎⑤	背骨の機能解剖学を学ぶ 背骨の動きを体現したムーブメント及びリリース
6	／	ボディーワーク基礎⑥	ピラティスによるスパインワーク
7	／	ボディーワーク基礎⑦	呼吸、骨盤、背骨の解剖学と機能のまとめ、関連のムーブメントとピラティス
8	／	ボディーワーク応用①	筆記試験 ムーブメントの復習
9	／	ボディーワーク応用②	肩の機能解剖学を学び、体現する
10	／	ボディーワーク応用③	肩～腕の運動に関する身体育成法Ⅰ課程の実施
11	／	ボディーワーク応用④	足の機能解剖学を学び体現する フットコンディショニング
12	／	ボディーワーク応用⑤	座る、立つ、歩くという運動する運動からスムーズな動きと姿勢について学ぶ
13	／	ボディーワーク応用⑥	各部位のムーブメントの実施により、機能の向上を図る
14	／	ボディーワーク応用⑦	2回目の測定を実施して、自身の変化と課題を確認する
15	／	学びの実践	筆記試験 ムーブメントの復習
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

成果発表として演舞を披露

評価方法

筆記と実技テストを開催

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期)

声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ボディーワーク基礎			2	高崎 尚子
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月~3月	演習	必須	32	ヨガ・ピラティス指導経験

授業概要

身体応用基礎・知識の習得

授業テーマ

課題を持って自身の身体能力の向上を目指す

授業項目

授業内容

1	／	ボディーワーク基礎①	ピラティス(呼吸、コア、ロール系) 身体育成法Ⅰ課程1・2項目(呼吸、肩、弾性運動)
2	／	ボディーワーク基礎②	ピラティス(体幹のワーク) 身体育成法Ⅰ課程1・2・9項目(跳躍運動追加)
3	／	ボディーワーク基礎③	ピラティス(ボールのワーク) 身体育成法Ⅰ課程1・2・9項目(バリエーション追加)
4	／	ボディーワーク基礎④	ピラティス(セラバンド) 身体育成法Ⅰ課程1・2・5(空間との関わり)
5	／	ボディーワーク基礎⑤	ピラティスと身体育成法を復習する
6	／	ボディーワーク基礎⑥	まとめのレポートについて確認し、実技試験の課題練習をする
7	／	ボディーワーク基礎⑦	レポート提出 実技試験
8	／	ボディーワーク応用①	身体育成法Ⅰ課程(リズムと空間の課題) マット運動(ローリング、肩倒立、前後転)
9	／	ボディーワーク応用②	身体育成法Ⅰ課程(アドバンス) マット運動(前後転系のバリエーション)
10	／	ボディーワーク応用③	身体育成法Ⅰ課程(複合リズム) マット運動(コンタクトテクニックから補助倒立へ)
11	／	ボディーワーク応用④	身体育成法Ⅰ課程(方向転換を加えた運動) マット運動(補助倒立、側転の基本)
12	／	ボディーワーク応用⑤	身体育成法Ⅰ課程(方向転換の運動) マット運動(前転系~側転の練習)
13	／	ボディーワーク応用⑥	計測(3回目)を実施して、1年間の変化と課題を確認する 実技試験の練習
14	／	ボディーワーク応用⑦	実技試験:身体育成法Ⅰ課程より空間の項目と回転の基礎 マット運動(前転系) 1年間の総括と課題確認(レポート提出)
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

成果発表として演舞を披露

評価方法

筆記と実技テストを開催

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語基礎			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	32	劇団goto 主宰/演出

授業概要

発声・滑舌・アクセントの基礎/習得

授業テーマ

発声発音の基礎知識 & 技術の習得

授業項目

授業内容

1	／	言語基礎①	マッサージ・ストレッチ・筋肉トレーニング・呼吸・発声の方法について説明、実践
2	／	言語基礎②	明瞭な発音の方法について説明、実践
3	／	言語基礎③	鼻濁音の理論と発音方法説明、実践
4	／	言語基礎④	無声化の理論と発音方法説明、実践
5	／	言語基礎⑤	総復習
6	／	言語基礎⑥	検定試験
7	／	言語基礎⑦	追試
8	／	言語応用①	アクセントの型と表記方法を知る アクセント辞典の使い方を確認する
9	／	言語応用②	正しい標準語アクセントの発音を練習問題を使用し繰り返す
10	／	言語応用③	プレスと間の使い方を知る 読み練習
11	／	言語応用④	リズム・テンポ・トーン・タッチの使い方を知る 読み練習
12	／	言語応用⑤	夏休み明け確認テスト
13	／	言語応用⑥	検定試験
14	／	言語応用⑦	追試
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

正しい標準語アクセントの習得とイントネーションに必要な6種の変化の習得

評価方法

ナレーション実技試験

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期)

声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語基礎			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	32	劇団goto 主宰/演出

授業概要

発声・滑舌・アクセント基礎知識から応用まで実践トレーニング

授業テーマ

プロミネンスとイントネーションを使えるようになり、ボイスサンプル作成を開始する

授業項目

授業内容

1	／	言語基礎①	プロミネンスの方法を知る 実践
2	／	言語基礎②	イントネーションの方法を知る 実践
3	／	言語基礎③	技術習得確認試験「課題原稿を読む」、ボイスサンプル構成について説明 作成開始
4	／	言語基礎④	ボイスサンプル原稿作成→確認繰り返し→完成
5	／	言語基礎⑤	ボイスサンプル原稿作成→確認繰り返し→完成
6	／	言語基礎⑥	ボイスサンプル喋り練習→ダメ出し繰り返し
7	／	言語基礎⑦	編集ソフト：ガレージバンド使用方法説明 実践
8	／	言語応用①	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
9	／	言語応用②	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
10	／	言語応用③	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
11	／	言語応用④	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
12	／	言語応用⑤	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
13	／	言語応用⑥	収録物へのダメ出し繰り返し→完成度を上げていく
14	／	言語応用⑦	ボイスサンプル完成物披露
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

ボイスサンプル作成・アクセント・滑舌・発声基礎を習得

評価方法

ボイスサンプルを提出・評価
声帯・体のしくみの筆記テスト

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期)

声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルーム I			2	橋野和正
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	32	学務スタッフ

授業概要

今後の目標確認

授業テーマ

業界進出に向けて準備

授業項目

授業内容

1	/	ホームルーム1	演劇のスタッフってなにがある？：演劇スタッフの職務について。
2	/	ホームルーム2	庫学校にある工具を見てみよう。：在庫管理、備品の使用、工具の名称、使い方。
3	/	ホームルーム3	舞台上で使う用語、寸法を知ろう。：舞台上で使う用語、寸法。舞台空間の作り方。搬入搬出。
4	/	ホームルーム4	パンチカーベットの使い方。：床養生の考え方と、整理の仕方。
5	/	ホームルーム5	木を切ってみよう。：木材加工の基礎。ケガク→切る。カッター、鋸。
6	/	ホームルーム6	色を塗ってみよう。：塗装の考え方。
7	/	ホームルーム7	接着するということ。：テープ、接着の基礎。
8	/	ホームルーム8	公演の準備を進めよう。①：公演準備、計画を再確認しよう。
9	/	ホームルーム9	公演の準備を進めよう。②：公演準備、チームで協力して進めよう。
10	/	ホームルーム10	公演の準備を進めよう。③：公演準備、不足は無いか確認しよう。
11	/	ホームルーム11	公演の準備を進めよう。④：公演準備、パンフは出来ていますか？
12	/	ホームルーム12	公演の準備を進めよう。⑤：公演準備、最終チェック。
13	/	ホームルーム13	公演を振り返ろう。：次回公演の課題の洗い出し。
14	/	ホームルーム14	片付け。：在庫管理。
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

舞台裏に関する知識・道具の管理の徹底

評価方法

備品管理チェックシートを用いて道具の名称をテスト

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期)

声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルーム I			2	橋野和正
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期10月~3月	演習	必須	32	学務スタッフ

授業概要

今後の目標確認

授業テーマ

業界進出に向けて準備

授業項目

授業内容

1	/	ホームルーム1	演劇のスタッフってなにがある？：演劇スタッフの職務について。
2	/	ホームルーム2	庫学校にある工具を見てみよう。：在庫管理、備品の使用、工具の名称、使い方。
3	/	ホームルーム3	舞台上で使う用語、寸法を知ろう。：舞台上で使う用語、寸法。舞台空間の作り方。搬入搬出。
4	/	ホームルーム4	パンチカーベットの使い方。：床養生の考え方と、整理の仕方。
5	/	ホームルーム5	木を切ってみよう。：木材加工の基礎。ケガク→切る。カッター、鋸。
6	/	ホームルーム6	色を塗ってみよう。：塗装の考え方。
7	/	ホームルーム7	接着するということ。：テープ、接着の基礎。
8	/	ホームルーム8	公演の準備を進めよう。①：公演準備、計画を再確認しよう。
9	/	ホームルーム9	公演の準備を進めよう。②：公演準備、チームで協力して進めよう。
10	/	ホームルーム10	公演の準備を進めよう。③：公演準備、不足は無いか確認しよう。
11	/	ホームルーム11	公演の準備を進めよう。④：公演準備、パンフは出来ていますか？
12	/	ホームルーム12	公演の準備を進めよう。⑤：公演準備、最終チェック。
13	/	ホームルーム13	公演を振り返ろう。：次回公演の課題の洗い出し。
14	/	ホームルーム14	片付け。：在庫管理。
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

舞台裏に関する知識・道具の管理の徹底

評価方法

備品管理チェックシートを用いて道具の名称をテスト

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期)

声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	キャリアプランニングⅠ			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	64	劇団万能グローブガラバコスタイナモス 主宰/演出

授業概要

- 過去の表現作品の考察
- プロフィール作成
- オーディションに向けての業界進出準備

授業テーマ

- 映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる
- 卒業後の業界進出準備
- プロフィールの添削・作成・完成・提出まで

授業項目

授業内容

1	／	業界進出準備①	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	プロフィール配布
2	／	業界進出準備②	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール作成
3	／	業界進出準備③	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
4	／	業界進出準備④	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	
5	／	業界進出準備⑤	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
6	／	業界進出準備⑥	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール回収
7	／	業界進出準備⑦	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
8	／	業界進出準備・対策①	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフィール添削配布
9	／	業界進出準備・対策②	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
10	／	業界進出準備・対策③	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール回収
11	／	業界進出準備・対策④	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
12	／	業界進出準備・対策⑤	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフィール添削配布
13	／	業界進出準備・対策⑥	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
14	／	業界進出準備・対策⑦	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール完成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	

到達目標

- プロフィール添削・完成・企業への提出
- 映画作品研究をし表現の幅を広げる

評価方法

- オーディション参加のためのプロフィール完成

教科書・参考文献

- 講師オリジナル

その他

2022年度(後期)

声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	キャリアプランニングⅡ			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	64	劇団万能グローブガラバコスタイナモス 主宰/演出

授業概要

- 過去の表現作品の考察
- プロフィール作成
- オーディションに向けての業界進出準備

授業テーマ

- 映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる
- 卒業後の業界進出準備
- プロフィールの添削・作成・完成・提出まで

授業項目

授業内容

1	／	業界進出準備①	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	プロフィール配布
2	／	業界進出準備②	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール作成
3	／	業界進出準備③	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
4	／	業界進出準備④	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	
5	／	業界進出準備⑤	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
6	／	業界進出準備⑥	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール回収
7	／	業界進出準備⑦	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
8	／	業界進出準備・実践①	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフィール添削配布
9	／	業界進出準備・実践②	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
10	／	業界進出準備・実践③	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール回収
11	／	業界進出準備・実践④	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
12	／	業界進出準備・実践⑤	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフィール添削配布
13	／	業界進出準備・実践⑥	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
14	／	業界進出準備・実践⑦	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフィール完成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	

到達目標

- プロフィール添削・完成・企業への提出
- 映画作品研究をし表現の幅を広げる

評価方法

- オーディション参加のためのプロフィール完成

教科書・参考文献

- 講師オリジナル

その他

2022年度(後期)		声優学科		1年	
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	224	タレント・MC・アーティスト

授業概要

業界進出目前のためオーディションの審査に特化した内容
 課題台本を複数用意
 自己PRをまとめオーディションに備える

授業テーマ

自己PRに強くなる

授業項目

授業内容

1	声優審査強化A課題①	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
2	声優審査強化A課題②	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
3	声優審査強化A課題③	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
4	声優審査強化A課題④	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
5	声優審査強化A課題⑤	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
6	声優審査強化A課題⑥	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
7	声優審査強化A課題⑦	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
8	声優審査強化A実践①	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
9	声優審査強化A実践②	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
10	声優審査強化A実践③	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
11	声優審査強化A実践④	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
12	声優審査強化A実践⑤	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
13	声優審査強化A実践⑥	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
14	声優審査強化A実践⑦	自己PR(数名)、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルームⅡ			2	橋野和正
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	32	学務スタッフ

授業概要

今後の目標確認

授業テーマ

業界進出に向けて準備

授業項目

授業内容

1	／	ホームルーム1	演劇のスタッフってなにがある？：演劇スタッフの職務について。
2	／	ホームルーム2	庫学校にある工具を見てみよう。：在管理、備品の使用、工具の名称、使い方。
3	／	ホームルーム3	舞台上で使う用語、寸法を知ろう。：舞台上で使う用語、寸法。舞台空間の作り方。搬入搬出。
4	／	ホームルーム4	パンチカーベットの使い方。：床養生の考え方と、整理の仕方。
5	／	ホームルーム5	木を切ってみよう。：木材加工の基礎。ケガク→切る。カッター、鋸。
6	／	ホームルーム6	色を塗ってみよう。：塗装の考え方。
7	／	ホームルーム7	接着するということ。：テープ、接着の基礎。
8	／	ホームルーム8	公演の準備を進めよう。①：公演準備、計画を再確認しよう。
9	／	ホームルーム9	公演の準備を進めよう。②：公演準備、チームで協力して進めよう。
10	／	ホームルーム10	公演の準備を進めよう。③：公演準備、不足は無いか確認しよう。
11	／	ホームルーム11	公演の準備を進めよう。④：公演準備、パンフは出来ていますか？
12	／	ホームルーム12	公演の準備を進めよう。⑤：公演準備、最終チェック。
13	／	ホームルーム13	公演を振り返ろう。：次回公演の課題の洗い出し。
14	／	ホームルーム14	片付け。：在庫管理。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

舞台裏に関する知識・道具の管理の徹底

評価方法

備品管理チェックシートを用いて道具の名称をテスト

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルームⅡ			2	橋野和正
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	32	学務スタッフ

授業概要

今後の目標確認

授業テーマ

業界進出に向けて準備

授業項目

授業内容

1	/	ホームルーム1	演劇のスタッフってなにがある？：演劇スタッフの職務について。
2	/	ホームルーム2	庫学校にある工具を見てみよう。：在管理、備品の使用、工具の名称、使い方。
3	/	ホームルーム3	舞台上で使う用語、寸法を知ろう。：舞台上で使う用語、寸法。舞台空間の作り方。搬入搬出。
4	/	ホームルーム4	パンチカーベットの使い方。：床養生の考え方と、整理の仕方。
5	/	ホームルーム5	木を切ってみよう。：木材加工の基礎。ケガク→切る。カッター、鋸。
6	/	ホームルーム6	色を塗ってみよう。：塗装の考え方。
7	/	ホームルーム7	接着するということ。：テープ、接着の基礎。
8	/	ホームルーム8	公演の準備を進めよう。①：公演準備、計画を再確認しよう。
9	/	ホームルーム9	公演の準備を進めよう。②：公演準備、チームで協力して進めよう。
10	/	ホームルーム10	公演の準備を進めよう。③：公演準備、不足は無いか確認しよう。
11	/	ホームルーム11	公演の準備を進めよう。④：公演準備、パンフは出来ていますか？
12	/	ホームルーム12	公演の準備を進めよう。⑤：公演準備、最終チェック。
13	/	ホームルーム13	公演を振り返ろう。：次回公演の課題の洗い出し。
14	/	ホームルーム14	片付け。：在庫管理。
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

舞台裏に関する知識・道具の管理の徹底

評価方法

備品管理チェックシートを用いて道具の名称をテスト

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化A			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	64	劇団風三等星 主宰/演出

授業概要

業界進出目前のためオーディションの審査に特化した内容
 課題台本を複数用意
 自己PRをまとめオーディションに備える

授業テーマ

自己PRに強くなる

授業項目

授業内容

1	／	声優審査強化A課題①	自己紹介（お互いに）、自己PR（出来るだけ全員） 質疑応答
2	／	声優審査強化A課題②	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答
3	／	声優審査強化A課題③	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
4	／	声優審査強化A課題④	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
5	／	声優審査強化A課題⑤	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
6	／	声優審査強化A課題⑥	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
7	／	声優審査強化A課題⑦	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表、まとめ
8	／	声優審査強化A実践①	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
9	／	声優審査強化A実践②	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
10	／	声優審査強化A実践③	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
11	／	声優審査強化A実践④	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
12	／	声優審査強化A実践⑤	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
13	／	声優審査強化A実践⑥	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
14	／	声優審査強化A実践⑦	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化A			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	64	劇団風三等星 主宰/演出

授業概要

業界進出目前のためオーディションの審査に特化した内容
 課題台本を複数用意
 自己PRをまとめオーディションに備える

授業テーマ

自己PRに強くなる

授業項目

授業内容

1	／	声優審査強化A課題①	自己紹介（お互いに）、自己PR（出来るだけ全員） 質疑応答
2	／	声優審査強化A課題②	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答
3	／	声優審査強化A課題③	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
4	／	声優審査強化A課題④	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
5	／	声優審査強化A課題⑤	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
6	／	声優審査強化A課題⑥	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
7	／	声優審査強化A課題⑦	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表、まとめ
8	／	声優審査強化A実践①	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
9	／	声優審査強化A実践②	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
10	／	声優審査強化A実践③	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
11	／	声優審査強化A実践④	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
12	／	声優審査強化A実践⑤	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
13	／	声優審査強化A実践⑥	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
14	／	声優審査強化A実践⑦	自己PR（数名）、ディスカッション、質疑応答、課題台本配布、発表
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化B			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	64	劇団風三等星 主宰/演出

授業概要

業界進出目前のためオーディションの審査に特化した内容
 課題台本を複数用意
 自己PRをまとめオーディションに備える

授業テーマ

自己PRに強くなる

授業項目

授業内容

1	声優審査強化A課題①	オリエンテーション
2	声優審査強化A課題②	短いテキストAを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ①
3	声優審査強化A課題③	短いテキストAを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ②
4	声優審査強化A課題④	テキストBを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ①
5	声優審査強化A課題⑤	テキストBを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ②
6	声優審査強化A課題⑥	テキストBを用い、読解した内容を表現する方法を学ぶ。
7	声優審査強化A課題⑦	テキストBを用いた表現を、さらに深める。
8	声優審査強化A実践①	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
9	声優審査強化A実践②	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
10	声優審査強化A実践③	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
11	声優審査強化A実践④	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
12	声優審査強化A実践⑤	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
13	声優審査強化A実践⑥	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
14	声優審査強化A実践⑦	テキストEを用い、制限時間内に読解、他者の前で演じ、また他者の演技について自分の意見を持ち発信する。
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化B			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	64	劇団風三等星 主宰/演出

授業概要

業界進出目前のためオーディションの審査に特化した内容
 課題台本を複数用意
 自己PRをまとめオーディションに備える

授業テーマ

自己PRに強くなる

授業項目

授業内容

1	声優審査強化A課題①	オリエンテーション
2	声優審査強化A課題②	短いテキストAを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ①
3	声優審査強化A課題③	短いテキストAを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ②
4	声優審査強化A課題④	テキストBを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ①
5	声優審査強化A課題⑤	テキストBを用い、脚本読解の基本的な知識を学ぶ②
6	声優審査強化A課題⑥	テキストBを用い、読解した内容を表現する方法を学ぶ。
7	声優審査強化A課題⑦	テキストBを用いた表現を、さらに深める。
8	声優審査強化A実践①	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
9	声優審査強化A実践②	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
10	声優審査強化A実践③	テキストCを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
11	声優審査強化A実践④	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する①
12	声優審査強化A実践⑤	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する②
13	声優審査強化A実践⑥	テキストDを使い、制限時間内に読解し、自分なりに演じ表現する③
14	声優審査強化A実践⑦	テキストEを用い、制限時間内に読解、他者の前で演じ、また他者の演技について自分の意見を持ち発信する。
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期)		声優学科 2年	
授業コード	授業科目名	週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化C	4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	前期4月～9月	演習 必須	64
			実務経験
			劇団風三等星 主宰/演出

授業概要

業界進出目前のためオーディションの審査に特化した内容
 課題台本を複数用意
 自己PRをまとめオーディションに備える

授業テーマ

自己PRに強くなる

授業項目

授業内容

1	声優審査強化C課題①	テキスト①を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
2	声優審査強化C課題②	テキスト②を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
3	声優審査強化C課題③	テキスト②を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
4	声優審査強化C課題④	テキスト②を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
5	声優審査強化C課題⑤	テキスト②を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
6	声優審査強化C課題⑥	テキスト②を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
7	声優審査強化C課題⑦	今クールの振り返り。まとめ。
8	声優審査強化C実践①	テキスト⑦視線の定め方、持って行き方を覚える。
9	声優審査強化C実践②	テキスト⑧テキストを読んでいる時の身体、ボディランゲージを覚える。
10	声優審査強化C実践③	テキスト⑨オーディション形式で発表。講評。
11	声優審査強化C実践④	テキスト⑨オーディション形式で発表。講評。
12	声優審査強化C実践⑤	テキスト⑨オーディション形式で発表。講評。
13	声優審査強化C実践⑥	テキスト⑨オーディション形式で発表。講評。
14	声優審査強化C実践⑦	このクールの振り返り。まとめ。
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	声優審査強化C			4	広瀬 健太郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	64	劇団風三等星 主宰/演出

授業概要

- 業界進出目前のためオーディションの審査に特化した内容
- 課題台本を複数用意
- 自己PRをまとめオーディションに備える

授業テーマ

- 自己PRに強くなる

授業項目

授業内容

1	声優審査強化C課題①	テキスト①を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
2	声優審査強化C課題②	テキスト②を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
3	声優審査強化C課題③	テキスト②を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
4	声優審査強化C課題④	テキスト②を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
5	声優審査強化C課題⑤	テキスト②を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
6	声優審査強化C課題⑥	テキスト②を配布、20分で読解、自分なりに表現する。その後、解釈を全員で議論、読解する。
7	声優審査強化C課題⑦	今クールの振り返り。まとめ。
8	声優審査強化C実践①	テキスト⑦視線の定め方、持って行き方を覚える。
9	声優審査強化C実践②	テキスト⑧テキストを読んでいる時の身体、ボディランゲージを覚える。
10	声優審査強化C実践③	テキスト⑨オーディション形式で発表。講評。
11	声優審査強化C実践④	テキスト⑨オーディション形式で発表。講評。
12	声優審査強化C実践⑤	テキスト⑨オーディション形式で発表。講評。
13	声優審査強化C実践⑥	テキスト⑨オーディション形式で発表。講評。
14	声優審査強化C実践⑦	このクールの振り返り。まとめ。
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期)		声優学科 2年	
授業コード	授業科目名	週間授業時数	担当講師名
	ボーディーワーク	2	高崎 尚子
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択
	前期4月～9月	演習	必須
		年間授業時数	実務経験
		32	ヨガ・ピラティス指導

授業概要

身体表現の基礎・応用までを習得

授業テーマ

細かなコントロールに関わる筋肉への刺激を入れ、より動ける身体を作っていく

授業項目

授業内容

1	ボーディーワーク基礎①	計測（4回目）により、現在のコンディションを把握する 呼吸のコントロールとドローイン実習
2	ボーディーワーク基礎②	筋肉について：トレーニング理論、筋肉を意識して動くピラティス
3	ボーディーワーク基礎③	インナーユニットについて ベルビクムーブメント 身体育成法I課程
4	ボーディーワーク基礎④	スパイン、ベルビクムーブメント 身体育成法 I 課程（アドバンス）
5	ボーディーワーク基礎⑤	全身のリリースとストレッチ（ボール、椅子） 身体育成法 I 課程(体感に関わる)
6	ボーディーワーク基礎⑥	全身のリリースとストレッチ(マット、ボール、椅子) 実技試験課題の確認と練習
7	ボーディーワーク基礎⑦	筆記試験（トレーニング理論） 実技試験（回転系）
8	ボーディーワーク応用①	動ける身体についての考察 東洋と西洋の運動の違い 太極舞の基本動作
9	ボーディーワーク応用②	太極舞（金）呼吸系、ウォーミングアップ ピラティスで股関節、背骨に関するエクササイズ（セラバンド）
10	ボーディーワーク応用③	太極舞（木）コア系筋トレ ピラティスでコア系ムーブメント
11	ボーディーワーク応用④	太極舞（火）有酸素運動 ピラティスで持久系ムーブメント
12	ボーディーワーク応用⑤	太極舞のそれぞれの動きのポイントを確認して練習
13	ボーディーワーク応用⑥	実技試験課題の金、火の練習
14	ボーディーワーク応用⑦	実技試験（太極舞 金、火） 中国系ムーブメントのポイントを確認
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

体を使う表現に対して考察し表現する

評価方法

太極舞の実技試験にクリア

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ボディーワーク			2	高崎 尚子
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	32	ヨガ・ピラティス指導

授業概要

身体表現の基礎・応用までを習得

授業テーマ

細かなコントロールに関わる筋肉への刺激を入れ、より動ける身体を作っていく

授業項目

授業内容

1	ボディーワーク基礎①	計測（5回目）現状の把握と課題の確認 リリースとストレッチ(マット、ボール)
2	ボディーワーク基礎②	和の所作について(座学) リリースとストレッチ (マット、ボール) 身体育成法II課程 (重心移動と足運び)
3	ボディーワーク基礎③	和の所作の基本 リリースとストレッチ (マット、椅子、ボール) 身体育成法II課程 (アドバンス)
4	ボディーワーク基礎④	和の所作 (邦舞基礎①) 足からのコンディショニング 身体育成法II課程 (空間形成)
5	ボディーワーク基礎⑤	和の所作 (邦舞基礎②) コンディションの把握と改善のプランニング 身体育成法II課程 (リズムと空間の複合)
6	ボディーワーク基礎⑥	身体育成法II課程課 (課題の練習) 和の所作 (邦舞基礎③)
7	ボディーワーク基礎⑦	実技試験 身体育成法II課程より
8	ボディーワーク応用①	コンディショニング実践の為に(座学) 身体育成法II課程CI (コンタクトインプロビゼーション) 基礎
9	ボディーワーク応用②	コンディションチェック 身体育成法II課程 CIとムーブメントワーク
10	ボディーワーク応用③	コンディションチェックとエクササイズ 身体育成法II課程
11	ボディーワーク応用④	コンディションチェックとエクササイズ 身体育成法II課程
12	ボディーワーク応用⑤	コンディショニングレポート(課題)の確認 身体育成法II課程
13	ボディーワーク応用⑥	計測(6回目) コンディショニングチェックとエクササイズ
14	ボディーワーク応用⑦	レポート提出 実技試験(身体育成法II課程より)
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

体を使う表現に対して考察し表現する

評価方法

実技と筆記試験を実施

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ表現			4	株) パインズ
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	64	福岡を代表するタレント事務所

授業概要

実践と検証を繰り返し、収録の質を高めていく

授業テーマ

★白箱(ラフな線画)状態でのアフレコを理解 ★アニメ長尺アフレコのよりクオリティを上げた収録

授業項目

授業内容

1	／	アフレコ基礎①	★一年生最終クール提出のレポート返却(希望者には添削レスポンス有) 台本製本、読み合わせ、画合わせ/白箱の基本的なレクチャー①
2	／	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表/マイクワーク、尺調など
3	／	アフレコ基礎③	決まったキャストによる小返し①(一年生で学んだ意識ポイントをおさらい・定着)
4	／	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(一年生で発見した個々の克服課題を注力指導)
5	／	アフレコ基礎⑤	全通し①→改善箇所ピックアップ→伝達→小返し③
6	／	アフレコ基礎⑥	全通し②→最終調整 最終リハーサルまで。
7	／	アフレコ基礎⑦	本番収録(アニメ長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
8	／	アフレコ応用①	★前クール提出のレポート返却(希望者には添削レスポンス有)・公演に向けたスタッフワーク決め ・ギャ収録・舞台上での出はけ確認など
9	／	アフレコ応用②	・出はけ確認続き→出はけメインで全通し
10	／	アフレコ応用③	・マイク前おさらい・出はけメイン全通し定着・オペレーション確認
11	／	アフレコ応用④	・マイク前全通し→調整 ・出はけメイン全通し→調整
12	／	アフレコ応用⑤	・実際の会場にてリハーサル ・オペレーションを中心に細部確定
13	／	アフレコ応用⑥	・前週の会場リハを踏まえて最終調整 ・スタッフワーク最終確定
14	／	アフレコ応用⑦	・公演を終えて振り返り→レポート作成(次回公演に向けて課題ピックアップ含む) ・白箱の基本的レクチャー②
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

稽古からアフレコ収録まで

評価方法

与えられた役に対し表現力を高めは表できるか
出席状況も評価のうちにはあります

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ表現			4	株) パインズ
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	64	福岡を代表するタレント事務所

授業概要

実践と検証を繰り返し、収録の質を高めていく

授業テーマ

★白箱(ラフな線画)状態でのアフレコを理解 ★アニメ長尺アフレコのよりクオリティを上げた収録

授業項目

授業内容

1	/	アフレコ基礎①	★前クール提出のレポート返却(希望者には添削レスポンス有り) 台本製本、読み合わせ、画合わせ/白箱レクチャーの応用
2	/	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表→マイクワーク、尺調など
3	/	アフレコ基礎③	決まったキャストによる小返し①
4	/	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②
5	/	アフレコ基礎⑤	全通し→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③
6	/	アフレコ基礎⑥	全通し→最終調整 最終リハーサルまで。
7	/	アフレコ基礎⑦	洋画(吹き替え)長尺本番収録 プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
8	/	アフレコ応用①	★前クール提出のレポート返却(希望者には添削レスポンス有り)・スタッフワーク決め ・ギャ収録
9	/	アフレコ応用②	・出はけ確認続き→出はけメイン全通し
10	/	アフレコ応用③	・マイク前おさらい ・出はけメイン全通し定着
11	/	アフレコ応用④	・マイク前全通し→調整 ・出はけメイン全通し→調整
12	/	アフレコ応用⑤	・オペレーション確認・スタッフワーク確認 ・小返し最終調整
13	/	アフレコ応用⑥	実際の会場にてリハーサル→オペレーション、演者ともにひととおり
14	/	アフレコ応用⑦	前週の会場を踏まえた最終調整 卒業公演に向けて
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

稽古からアフレコ収録まで

評価方法

与えられた役に対し表現力を高めは表できるか
出席状況も評価のうちにはあります

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ダンス表現			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	<small>前期4月～9月</small>	演習	必須	32	福岡を代表するダンススタジオ

授業概要

選択授業にすることでより意識の高いダンスレッスンを実施
ダンスに挑戦し仕事に変化させていく講座運営方針

授業テーマ

授業/ダンス・撮影までの流れを知る
振り付けを覚える実践トレーニング

授業項目

授業内容

1	／	ダンス応用・実践①	振付を覚える
2	／	ダンス応用・実践②	振付を覚える
3	／	ダンス応用・実践③	振付を覚える
4	／	ダンス応用・実践④	振付を覚える
5	／	ダンス応用・実践⑤	振付を覚える
6	／	ダンス応用・実践⑥	振付を覚える
7	／	ダンス応用・実践⑦	テスト
8	／	ダンス応用・実践・撮影①	ステップを1つ覚える
9	／	ダンス応用・実践・撮影②	ステップを1つ覚える
10	／	ダンス応用・実践・撮影③	ステップを1つ覚える
11	／	ダンス応用・実践・撮影④	ステップを2つ覚える
12	／	ダンス応用・実践・撮影⑤	ステップを2つ覚える
13	／	ダンス応用・実践・撮影⑥	ステップを2つ覚える
14	／	ダンス応用・実践・撮影⑦	9つのステップを組み合わせてテスト
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

仮撮影としての目標設定
80%のダンス構築を目指します

評価方法

仮撮影を評価対象とします

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ダンス表現			2	有限会社ドットカラーダンススタジオ
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	32	福岡を代表するダンススタジオ

授業概要

選択授業にすることでより意識の高いダンスレッスンを実施
ダンスに挑戦し仕事に変化させていく講座運営方針

授業テーマ

授業/ダンス・撮影までの流れを知る
振り付けを覚える実践トレーニング

授業項目

授業内容

1	／	ダンス応用・実践①	振り付けを覚える
2	／	ダンス応用・実践②	振り付けを覚える
3	／	ダンス応用・実践③	振り付けを覚える
4	／	ダンス応用・実践④	振り付けを覚える
5	／	ダンス応用・実践⑤	振り付けを覚える
6	／	ダンス応用・実践⑥	振り付けを覚える
7	／	ダンス応用・実践⑦	テスト・動画作成
8	／	ダンス応用・実践・撮影①	曲を選ぶ・グループ作成
9	／	ダンス応用・実践・撮影②	振り付けを作る
10	／	ダンス応用・実践・撮影③	振り付けを作る
11	／	ダンス応用・実践・撮影④	振り付けを作る
12	／	ダンス応用・実践・撮影⑤	振り付けを作る
13	／	ダンス応用・実践・撮影⑥	振り付けを作る
14	／	ダンス応用・実践・撮影⑦	テスト・動画撮影
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

仮撮影としての目標設定
80%のダンス構築を目指します

評価方法

仮撮影を評価対象とします

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	歌唱表現			2	秋葉 千春
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	32	劇団四季 歌唱指導

授業概要

表現力の向上・業界進出後の声優の職種の幅をひろげる

授業テーマ

リズム、音程共に複雑な音符を階名で歌う。発声を自分のものにする

授業項目

授業内容

1	／	歌唱基礎①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ50番練習曲 3番。あの素晴らしい愛をもういちど（第1楽章）
2	／	歌唱基礎②	上記を繰り返し練習
3	／	歌唱基礎③	上記を繰り返し練習
4	／	歌唱基礎④	上記を繰り返し練習
5	／	歌唱基礎⑤	上記を繰り返し練習
6	／	歌唱基礎⑥	階名で歌う。テスト コンコーネ50番練習曲 3番。あの素晴らしい愛をもういちど（暗譜）
7	／	歌唱基礎⑦	テスト あの素晴らしい愛をもういちど（暗譜）
8	／	歌唱応用①	五線譜上の音符を階名を歌う。コンコーネ50番練習曲 17番。Sento nel core（第2クール課題）
9	／	歌唱応用②	上記を繰り返し練習
10	／	歌唱応用③	上記を繰り返し練習
11	／	歌唱応用④	上記を繰り返し練習
12	／	歌唱応用⑤	上記を繰り返し練習
13	／	歌唱応用⑥	階名を歌う。テスト コンコーネ50番練習曲 17番（暗譜）
14	／	歌唱応用⑦	階名を歌う。Sento nel core（暗譜）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

課題をクラスのメンバー全員/個人で発表

評価方法

1人ずつ個人発表し歌唱力採点
全体発表はクラスごとに行い結果を後日発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期)		声優学科 2年	
授業コード	授業科目名	週間授業時数	担当講師名
	歌唱表現	2	秋葉 千春
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	後期10月～3月	演習 必須	32
			実務経験
			劇団四季 歌唱指導

授業概要

表現力の向上・業界進出後の声優の職種の幅をひろげる

授業テーマ

リズム、音程共に複雑な音符を階名で歌う。発声を自分のものにする

授業項目

授業内容

1	／	歌唱基礎①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ50番練習曲13番。アニメソング（第3クール課題）
2	／	歌唱基礎②	上記を繰り返し練習。
3	／	歌唱基礎③	上記を繰り返し練習。
4	／	歌唱基礎④	上記を繰り返し練習。
5	／	歌唱基礎⑤	上記を繰り返し練習。
6	／	歌唱基礎⑥	階名で歌う。テストコンコーネ50番練習曲13番（暗譜）
7	／	歌唱基礎⑦	階名で歌う。テストアニメソング（暗譜）
8	／	歌唱応用①	五線譜上の音符を階名で歌う。コンコーネ50番練習曲27番。アニメソング（第4クール課題）
9	／	歌唱応用②	上記を繰り返し練習。
10	／	歌唱応用③	上記を繰り返し練習。
11	／	歌唱応用④	上記を繰り返し練習。
12	／	歌唱応用⑤	上記を繰り返し練習。
13	／	歌唱応用⑥	階名で歌う。テストコンコーネ50番練習曲27番（暗譜）
14	／	歌唱応用⑦	階名で歌う。テストアニメソング（暗譜）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

課題をクラスのメンバー全員/個人で発表

評価方法

1人ずつ個人発表し歌唱力採点

全体発表はクラスごとに行い結果を後日発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界進出			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	64	劇団万能クローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

授業概要

- 過去の表現作品の考察
- プロフシート完了
- オーディションに向けての業界進出最終準備

授業テーマ

- 映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる
- 希望プロダクション決定
- プロフシートの添削・作成・完成・提出・オーディションに参加

授業項目

授業内容

1	／	業界進出準備①	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	プロフシート配布
2	／	業界進出準備②	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート作成
3	／	業界進出準備③	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
4	／	業界進出準備④	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	
5	／	業界進出準備⑤	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
6	／	業界進出準備⑥	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート回収
7	／	業界進出準備⑦	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
8	／	業界進出準備・実践①	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフシート添削配布
9	／	業界進出準備・実践②	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
10	／	業界進出準備・実践③	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート回収
11	／	業界進出準備・実践④	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
12	／	業界進出準備・実践⑤	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフシート添削配布
13	／	業界進出準備・実践⑥	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
14	／	業界進出準備・実践⑦	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート完成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	

到達目標

- プロフシート添削・完成・企業への提出
- 映画作品研究をし表現の幅を広げる

評価方法

- オーディション参加のためのプロフシート完成

教科書・参考文献

- 講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界進出			4	川口 大樹
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	64	劇団万能クローブカラバコスダイナモス 主宰/演出

授業概要

芸能業界で活躍するための知識と経験を養います

授業テーマ

業界実践・フリートーク・ラジオ・MCなど幅広く経験を積む講座

授業項目

授業内容

1	／	業界実践課題①	オリエン
2	／	業界実践課題②	フリートーク実践
3	／	業界実践課題③	フリートーク実践
4	／	業界実践課題④	ラジオ実践
5	／	業界実践課題⑤	ラジオ実践
6	／	業界実践課題⑥	ラジオ実践
7	／	業界実践課題⑦	ラジオ実践
8	／	業界実践課題・芸能知識①	MC
9	／	業界実践課題・芸能知識②	MC
10	／	業界実践課題・芸能知識③	MC
11	／	業界実践課題・芸能知識④	番組ナレーション実践講座
12	／	業界実践課題・芸能知識⑤	番組ナレーション実践講座
13	／	業界実践課題・芸能知識⑥	番組ナレーション実践講座
14	／	業界実践課題・芸能知識⑦	番組ナレーション実践講座
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

質疑応答力・フリートークを磨く

評価方法

フリートーク実践を撮影し担任共有のもと評価

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語表現			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	32	劇団goto 主宰/演出

授業概要

発声・滑舌・アクセント・ボイスサンプルの完成をめざし即戦力を養う

授業テーマ

イントネーションのついたナレーションの習得

授業項目

授業内容

1	／	言語基礎①	芥川龍之介「鼻」使用 センテンス毎の指定トーン反復練習 数人発表 ダメ出し
2	／	言語基礎②	芥川龍之介「鼻」使用 センテンス毎の指定トーン反復練習 全員発表 ダメ出し
3	／	言語基礎③	芥川龍之介「鼻」使用 1分10秒で読めるようテンポ反復練習 発表 ダメ出し
4	／	言語基礎④	芥川龍之介「鼻」使用 指定箇所のみでのプレスと間で読めるよう反復練習 発表 ダメ出し
5	／	言語基礎⑤	芥川龍之介「鼻」使用 センテンス毎の指定タッチ反復練習 発表 ダメ出し
6	／	言語基礎⑥	芥川龍之介「鼻」使用 指定プロミネンス反復練習 発表 ダメ出し
7	／	言語基礎⑦	試験 芥川龍之介「鼻」発表
8	／	言語応用①	モリエール「町人貴族」使用 人物のトーン・タッチ指定、反復練習 発表 ダメ出し
9	／	言語応用②	モリエール「町人貴族」使用 人物のテンポ・間・プロミネンス指定、反復練習 発表 ダメ出し
10	／	言語応用③	モリエール「町人貴族」使用 人物の息・視線・表情提案、反復練習 発表 ダメ出し
11	／	言語応用④	チエーフ「桜の園」使用 人物のトーン・タッチ指定、反復練習 発表 ダメ出し
12	／	言語応用⑤	チエーフ「桜の園」使用 人物のテンポ・間・プロミネンス指定、反復練習 発表 ダメ出し
13	／	言語応用⑥	チエーフ「桜の園」使用 人物の息・視線・表情提案、反復練習 発表 ダメ出し
14	／	言語応用⑦	試験 「町人貴族」「桜の園」いずれかを発表
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

発声滑舌ナレーションの習得・実践・発表

評価方法

筆記・実技でトレーニングの成果発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	言語表現			2	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	32	劇団goto 主宰/演出

授業概要

発声・滑舌・アクセント・ボイスサンプルの完成をめざし即戦力を養う

授業テーマ

イントネーションのついたナレーションの習得

授業項目

授業内容

1	言語基礎①	芥川龍之介「鼻」使用 センテンス毎の指定トーン反復練習 数人発表 ダメ出し
2	言語基礎②	芥川龍之介「鼻」使用 センテンス毎の指定トーン反復練習 全員発表 ダメ出し
3	言語基礎③	芥川龍之介「鼻」使用 1分10秒で読めるようテンポ反復練習 発表 ダメ出し
4	言語基礎④	芥川龍之介「鼻」使用 指定箇所だけのプレスと間で読めるよう反復練習 発表 ダメ出し
5	言語基礎⑤	芥川龍之介「鼻」使用 センテンス毎の指定タッチ反復練習 発表 ダメ出し
6	言語基礎⑥	芥川龍之介「鼻」使用 指定プロミネンス反復練習 発表 ダメ出し
7	言語基礎⑦	試験 芥川龍之介「鼻」発表
8	言語応用①	モリエール「町人貴族」使用 人物のトーン・タッチ指定、反復練習 発表 ダメ出し
9	言語応用②	モリエール「町人貴族」使用 人物のテンポ・間・プロミネンス指定、反復練習 発表 ダメ出し
10	言語応用③	モリエール「町人貴族」使用 人物の息・視線・表情提案、反復練習 発表 ダメ出し
11	言語応用④	チエーフ「桜の園」使用 人物のトーン・タッチ指定、反復練習 発表 ダメ出し
12	言語応用⑤	チエーフ「桜の園」使用 人物のテンポ・間・プロミネンス指定、反復練習 発表 ダメ出し
13	言語応用⑥	チエーフ「桜の園」使用 人物の息・視線・表情提案、反復練習 発表 ダメ出し
14	言語応用⑦	試験 「町人貴族」「桜の園」いずれかを発表
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

発声滑舌ナレーションの習得・実践・発表

評価方法

筆記・実技でトレーニングの成果発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	制作演習 I			2	中島 信和
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	43	劇団 兄弟船

授業概要

- 過去の表現作品の考察
- プロフシート完了
- オーディションに向けての業界進出最終準備

授業テーマ

- 映画を作品研究し演技や表現の幅を広げる
- 希望プロダクション決定
- プロフシートの添削・作成・完成・提出・オーディションに参加

授業項目

授業内容

1	／	業界進出準備①	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	プロフシート配布
2	／	業界進出準備②	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート作成
3	／	業界進出準備③	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
4	／	業界進出準備④	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	
5	／	業界進出準備⑤	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
6	／	業界進出準備⑥	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート回収
7	／	業界進出準備⑦	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
8	／	業界進出準備・実践①	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフシート添削配布
9	／	業界進出準備・実践②	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
10	／	業界進出準備・実践③	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート回収
11	／	業界進出準備・実践④	映画鑑賞・作品研究 90年代の作品	
12	／	業界進出準備・実践⑤	映画鑑賞・作品研究 2000年代の作品	プロフシート添削配布
13	／	業界進出準備・実践⑥	映画鑑賞・作品研究 70年代の作品	
14	／	業界進出準備・実践⑦	映画鑑賞・作品研究 80年代の作品	プロフシート完成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施	

到達目標

- プロフシート添削・完成・企業への提出
- 映画作品研究をし表現の幅を広げる

評価方法

- オーディション参加のためのプロフシート完成

教科書・参考文献

- 講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	制作演習Ⅱ			2	中島 信和
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	43	劇団 兄弟船

授業概要

芸能業界で活躍するための知識と経験を養います

授業テーマ

業界実践・フリートーク・ラジオ・MCなど幅広く経験を積む講座

授業項目

授業内容

1	／	業界実践課題①	オリエン
2	／	業界実践課題②	フリートーク実践
3	／	業界実践課題③	フリートーク実践
4	／	業界実践課題④	ラジオ実践
5	／	業界実践課題⑤	ラジオ実践
6	／	業界実践課題⑥	ラジオ実践
7	／	業界実践課題⑦	ラジオ実践
8	／	業界実践課題・芸能知識①	MC
9	／	業界実践課題・芸能知識②	MC
10	／	業界実践課題・芸能知識③	MC
11	／	業界実践課題・芸能知識④	番組ナレーション実践講座
12	／	業界実践課題・芸能知識⑤	番組ナレーション実践講座
13	／	業界実践課題・芸能知識⑥	番組ナレーション実践講座
14	／	業界実践課題・芸能知識⑦	番組ナレーション実践講座
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

質疑応答力・フリートークを磨く

評価方法

フリートーク実践を撮影し担任共有のもと評価

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(前期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	224	タレント・MC・アーティスト

授業概要

- 業界進出目前のためオーディションの審査に特化した内容
- 課題台本を複数用意
- 自己PRをまとめオーディションに備える

授業テーマ

- 自己PRに強くなる

授業項目

授業内容

1	／	声優審査強化B課題①	テキストFを用い、制限時間内に読解し自分の表現として立ち上げる。互いに観察しあい、各々
2	／	声優審査強化B課題②	テキストFを用い、制限時間内に読解し自分の表現として立ち上げる。互いに観察しあい、各々
3	／	声優審査強化B課題③	テキストGを用い、制限時間内に読解し自分の表現として立ち上げる。互いに観察しあい、各々
4	／	声優審査強化B課題④	テキストGを用い、制限時間内に読解し自分の表現として立ち上げる。互いに観察しあい、各々
5	／	声優審査強化B課題⑤	テキストHを用い、制限時間内に読解し自分の表現として立ち上げる。互いに観察しあい、各々
6	／	声優審査強化B課題⑥	テキストGを用い、制限時間内に読解し自分の表現として立ち上げる。互いに観察しあい、各々
7	／	声優審査強化B課題⑦	前クールなどで使用したものを含めた、ランダムなテキストを用い、素早い読解、演技の発表を行う
8	／	声優審査強化B実践①	テキストを用い集団での読解、演技プランの構築、発表を行う①
9	／	声優審査強化B実践②	テキストを用い集団での読解、演技プランの構築を②
10	／	声優審査強化B実践③	チームごとに中間発表を行い、互いに批評し合う。
11	／	声優審査強化B実践④	中間発表をもとに、演技をより深める①
12	／	声優審査強化B実践⑤	中間発表をもとに、演技をより深める②
13	／	声優審査強化B実践⑥	チームごとに成果発表を行う。互いに批評し合う。
14	／	声優審査強化B実践⑦	全体の振り返り、まとめ。
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他

2022年度(後期) 声優学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	藤城 陽子
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	224	タレント・MC・アーティスト

授業概要

業界進出目前のためオーディションの審査に特化した内容
 課題台本を複数用意
 自己PRをまとめオーディションに備える

授業テーマ

自己PRに強くなる

授業項目

授業内容

1	声優審査強化A課題①	即興劇に取り組むことで、自分自身を発掘する。
2	声優審査強化A課題②	即興劇に取り組むことで、自分自身を発掘する。
3	声優審査強化A課題③	即興劇に取り組むことで、自分自身を発掘する。
4	声優審査強化A課題④	グループに分かれ、即興劇で長めの作品を創る。
5	声優審査強化A課題⑤	グループに分かれ、即興劇で長めの作品を創る。
6	声優審査強化A課題⑥	グループに分かれ、即興劇で長めの作品を創る。
7	声優審査強化A課題⑦	このクールの振り返り。まとめ。
8	声優審査強化A実践①	テキスト⑬配布、グループで解釈、表現プランを立てる。
9	声優審査強化A実践②	表現プランを元に稽古。
10	声優審査強化A実践③	表現プランを元に稽古。
11	声優審査強化A実践④	中間発表。全員で講評。それを受け、プランを練り直す。
12	声優審査強化A実践⑤	表現プランを元に稽古。
13	声優審査強化A実践⑥	テキスト⑬を再び発表。全員で講評。
14	声優審査強化A実践⑦	このクールの振り返り。一年間のまとめ。
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

到達目標

自己PRをまとめ課題台本に対して読解力の向上を図る

評価方法

1人ずつ評価をし採点/発表

教科書・参考文献

講師オリジナル

その他